

熱中症対策について(お願い)

入梅の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃は、本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、本校では、子どもたちが安心・安全に学校生活を送ることができるように、種々の熱中症対策を行ってきています。しかし、本年度は、新型コロナウイルス感染症対策のためにマスクをしたまま生活したり、7月後半や8月にも授業日が設定されたりと、例年以上に熱中症が心配されます。マスクをしたまま生活していると、のどの渇きを感じにくく、体の水分不足に気づきにくくなるといったリスクも指摘されています。

そこで、これらの状況を考え、本校では必要に応じて、下記のような対応を行ってまいります。5月21日付「感染症予防と熱中症対策について」の文書でもお願いいたしました。改めて熱中症対策について、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

記

1 本校での熱中症対策

- (1) 朝の会で健康観察をし、児童の健康状態を把握します。
- (2) 水分補給と汗ふきをこまめにするよう声をかけます。
- (3) 緊急の場合に対応できるように、熱中症用救急用品を準備します。
- (4) 室内に熱がこもらないように、エアコンを運転しつつ、換気のために授業中は天窓を、休み時間にはその他の窓も開けます。
- (5) 体調がすぐれないときには担任にすぐ申し出るように指導し、早めに休憩をとらせます。
- (6) 熱中症指数を随時測定し、危険と判断される場合には、体育の授業や屋外での活動を中止します。
- (7) 遊びや運動で上がった体温を下げるために、ミストシャワーを児童昇降口付近に設置します。
- (8) 体育の授業ではマスクを取って行います。また、登下校時に暑いと感じるときはマスクを取ってもよいことにします。(マスクを入れる袋やポシェット等をご用意ください)
- (9) 水筒のお茶は歩きながら飲まないように指導します。特に、登下校では、給水ポイントで安全に止まって飲むようにします。

2 ご家庭へのお願い

- (1) 家庭で、朝、検温と咳等のかぜ症状がないことを確認し、健康観察カードに記入し、捺印してください。カードは毎朝児童に持たせ、担任に提出してください。
- (2) 以下の症状が見られる場合は、感染症や熱中症にかかるリスクが高くなります。無理せずに家庭で休ませてください。
 - ① 平熱より体温が高く、体がだるい、疲れたと訴える場合。
 - ② 吐き気や頭痛などの症状が見られる場合。
 - ③ 食欲がなく、十分な朝食がとれていない場合。
- (3) 水筒の中身と安全面・衛生面の管理について
 - ・ 「お茶」または「スポーツドリンク」とします。スポーツドリンク以外の清涼飲料水(ジュース)はお控えください。持参する期間については、ご家庭の判断でお願いします。下校時まで水分補給ができるように、お子さんと量や飲み方を確認し、準備をお願いします。
 - ・ ペットボトルで持参する場合は、ペットボトル本体とペットボトルホルダーに記名をして、持たせてください。また、凍らせるなどして、保冷対策をお願いします。空になったペットボトルは、家庭へ持ち帰らせます。
 - ・ 友達同士で、お茶等をもらったりあげたりしないよう指導してまいります。
- (4) 熱中症対策グッズの使用について
 - ・ 首に巻くような冷却タオルや日傘等を登下校時に使用していただいても結構です。また、汗ふき用のタオルや着替えを用意するなど、必要に応じて持たせてもかまいません。水筒やタオル等には、すべて記名をお願いします。
- (5) 健康上の理由で日焼け防止剤等を使用する場合は、担任までご相談ください。
※ ご不明な点や心配なことがある場合は、学校までご相談ください。